

各関係機関団体の長
各病虫害防除員
農業資材販売等関係者 } 殿

福岡県病虫害防除所長

ナシ黒星病防除の徹底について

ナシ黒星病は、開花直前から満開20日後までの主要感染時期に降雨が続くと多発します。本年は2～3月の気温が高めに推移したため、開花期が平年より早くなる見込みです。

今後の気象情報に十分注意し、防除の徹底を指導願います。

技術情報

1 作物名 ナシ

2 病虫害名 黒星病

3 ナシの生育予想

ナシの生育が早く、開花期は平年より12日程度早くなる見込み。

表 農業総合試験場における生育予想

品 種	本年開花始め	平年開花始め	平年差
幸水（露地）	3月28日（予想）	4月9日	-12
豊水（露地）	3月25日	4月6日	-12

注1）平年：S57～H20年の平均

注2）開花始め：全体の20～30%の花が開花した日

4 防除上注意すべき事項

(1) 福岡管区气象台3月20日発表の1か月予報では、気温及び降水量は平年並とされている。天候は周期的に変化すると予想されているため、今後の気象情報（特に降雨）には十分注意する。

(2) 薬剤防除は、開花直前から満開20日後までの主要感染時期に、本病に効果の高いDMI剤（ジフェノコナゾール水和剤、ヘキサコナゾール水和剤、フェンブコナゾール水和剤）を主体に7～10日間隔で実施する。なお、ジフェノコナゾール水和剤、ヘキサコナゾール水和剤に、イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤を混用すると防除効果が上がる。また、薬剤耐性菌の発生を回避するため、DMI剤以外の剤とのロテーション散布を行う。

(3) 伝染源である芽基部病斑は、できるかぎり剪除し、園外に処分する。

(4) 防除に当たっては、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守するとともに、周辺作物への飛散防止対策を講ずる。